



読みましょう

1 趣味について話しましょう。

趣味や休みの日にどんなことをするのかを自由に話しましょう。「趣味がありません」、「休みの日は寝ています」でもいいです。どんな話でも共感しながら話を聴くことを大切にしましょう。

2 あなたが興味のある仕事は？

ペアかグループでの活動(2,3人)をオススメします。そのあと、全体で共有しましょう。

①は、興味のある仕事をA～Dから選びます。その仕事が「できる／できない」ではなく、ユニット本文に記載の「自由に選べるとしたら」というのがポイントです。②は、①の理由を話します。どのような理由でもいいです。参加者全員がみんなの話に興味関心を持って聴くようにしましょう。

3 仕事と履歴書について知りましょう。

これも、ペアかグループでの活動(2,3人)をオススメします。そのあと、全体で共有しましょう。

これまで、仕事やアルバイトをしたことがない人でも、家の仕事(家事)について話すことができるかもしれません。いろいろな角度から「仕事」について話してみましょう。仕事やアルバイトをしていた場所や期間、家事をしていた時期などの具体的な質問をし合えると、話が広がります。

読みましょう

● 厚生労働省が発表した新たな履歴書の様式例について

厚生労働省は、2021年4月16日以前は公正な採用選考を確保する観点から、一般財団法人日本規格協会(JIS)が示していたJIS規格の履歴書の様式例の使用を推奨していました。しかし、2020年7月にLGBT当事者を支える団体から性別欄の削除等の申し出があり、これを機にJIS規格の履歴書の様式例が削除され、厚生労働省が新たに履歴書の様式例を発表することになりました。

*参考にしたサイトには、「LGBT」となっていますが、現在は「LGBTQIA+」などの概念もあります。



厚生労働省「求職者の皆さまへ 新たな履歴書の様式例の作成について」

<https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/pdf/10.pdf>



※新たな履歴書の様式例(厚生労働省履歴書様式例)と従来の履歴書の様式例(JIS規格の履歴書様式例)の違いがよくわかります。この資料は、サポートサイトにも載せてあります。実際の履歴書の記入例については、巻末資料(pp.68-69)を参考にしてください。

● **履歴書の変更点について（性別欄以外）**

2 段落 3 文目「通勤時間や扶養家族の人数、結婚しているかどうかなどを書くところ」は、「通勤時間、扶養家族数（配偶者を除く）、配偶者、配偶者の扶養義務」のことを指しています。

今日のことば

「厚生労働省」と「通勤時間」、「扶養家族」は、理解語彙として扱っています。これらのことばは覚えなくてもいいです。

考えましょう
話しましょう

1 今までよく使われていた履歴書と新しい履歴書の例は、どのような違いがありますか。pp.68-69 の履歴書を見て確認しましょう。

本文の 2 段落目を参考に考えます。答えは、その場で全員で確認しましょう。

2 アメリカが、履歴書に年齢や性別、顔写真などの個人情報を書くことを禁止にしたのは、どうしてですか。

本文の 3 段落目を参考に考えます。答えは、その場で全員で確認しましょう。

3 2) について、あなたは賛成ですか、反対ですか。理由も話しましょう。

3 はペアやグループ (2, 3 人) での活動がいいと思います。**3** のあとに全体共有の時間も設けましょう。また、この問いには、絶対的な正解はありません。サポーターは、参加者が自由に自分の意見を言えるような雰囲気づくりを心がけましょう。

いっしょに /
学び合いましょう

1 名刺を見てみましょう。

1 では、名刺にどんな情報が書いてあるかを全員で確認します。参加者のなかで名刺を持っている人がいたら是非見せてもらいましょう。名刺を持っている参加者がいなかったら、サポーターが見せられるように準備をしておきます。サポーターも持っていなかったら、ユニット 12 p.51 に添付した名刺の例をみて確認しましょう。その場でインターネットで「名刺 例 ビジネス」などと検索するのもいいと思います。この名刺にはどんなことが書いてあるか、どこに何が書いてあるか等の質問をして、参加者から意見が出るのを待ちましょう。

2 名刺を考えて作ってみましょう。

①②ともに、グループでの活動(3、4人)をオススメします。②のあとに、全体での共有時間を設けましょう。

①は、名刺作成です。仕事で使う名刺のほかに、自分を表す2つ目の名刺を考えてみましょう。オリジナルの名刺なので、日本語でなくてもいいです。自分のことをより表現できることばで作ってみましょう。ユニットに添付した例や巻末に掲載した例を参考にしてもいいです。名刺の紙は、サポートサイトに掲載したURLから名刺のテンプレートを印刷してもいいですし、サポーターのみなさんが用意した画用紙などを使用してもいいです。名刺のテンプレートは、実際の名刺のサイズ(55mm×91mm)で作りました。サポーターのみなさんも是非、いっしょに作ってみてください。

名刺作成は個人作業になりがちですが、グループで作業するようにしましょう。グループで作業をすることで、対話が広がります。

②では、①で作った名刺に対する「思い」を聴きます。大切なのは、名刺の完成度ではなく、この名刺を作ろうと思った気持ちや思いなので、参加者全員がしっかりとその思いを聴くようにしましょう。この活動を通して、普段いっしょに学んでいる参加者の新しい一面を知ることができたら素敵だと思います。

3 2で作った名刺を使って、名刺交換をしてみましょう。

③は、2で作った名刺を使って実際に名刺交換をします。ペアかグループでの活動(2、3人)がいいと思います。ここは時間がなければスキップしてもいいです。

名刺交換は、所謂「ビジネス場面での名刺交換」ではなく、もっと軽い感じの名刺交換でいいと思います。しかし、「ビジネス場面での名刺交換をやりたい!」という参加者からの声があった場合や、サポーターのみなさんが参加者の将来を見据えて「この活動でビジネス場面での名刺交換をしたほうがいい」と判断した場合は、その場の状況によって「ビジネス場面での名刺交換」に変えてもいいと思います。いずれにしても、名刺交換をするのであれば、一度サポーターのみなさんがお手本を見せたり、全員で参考になる映像を見たりしたあとに、ペアかグループで実際に名刺交換をしてみましょう。



ふり返りではどんなことを話してもいいです。この活動で考えたこと、学んだこと、感じたことを自由に話しましょう。参加者全員でふり返りをして、考えたことなどを共有することで、さらに学びが深まります。

※ふり返りの進め方などは、ユニット1に「まつお一口メモ」があります。あわせてご覧ください。